

「大洲・八幡浜自動車道」の整備効果

九州・四国・京阪神を結ぶ「新たな国土軸」を形成

- 九州と四国を結ぶ交通・物流の大動脈
- 新たな国土軸として本州ルートとともに広域多重ネットワークを形成

大規模災害に備えた「命の道」の確保

- 南海トラフ地震などの大規模災害時の緊急輸送道路
- 万が一、伊方原子力発電所で事故が発生した際の広域避難道路

物流・観光を活性化させる「地方創生の道」

- 四国の西の玄関口「八幡浜港」を中心とした賑わいある交流空間を創出
(平成25年4月には道の駅「八幡浜みなと」がオープン)

八幡浜・大洲圏域の広域救急医療機関へのアクセス向上

- 救急医療の搬送時間短縮
(管外搬送の約6割が宇和島・松山への搬送、収容に1時間以上)

主要渋滞箇所、事故危険区間の解消

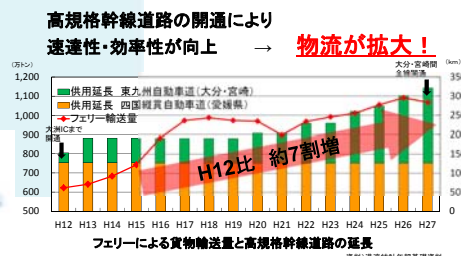
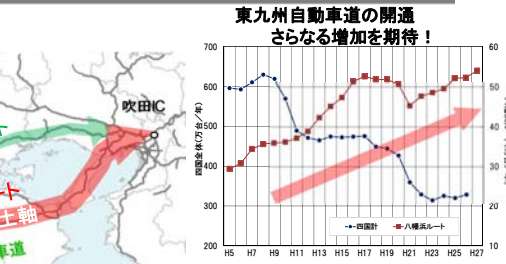
- 大洲北只交差点、八幡浜江戸岡交差点の渋滞緩和、事前通行規制区間の解消等

大規模災害に備えた「命の道」の確保 3



九州・四国・京阪神を結ぶ「新たな国土軸」を形成 2

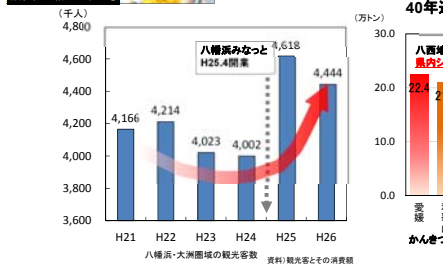
船点(終点)	各県庁～吹田IC間の移動時間(運転距離)	
	本州ルート	四国ルート
大分	約8.3時間(約660km)	約7.5時間(約450km)
宮崎	約10.8時間(約850km)	約9.8時間(約630km)
鹿児島	約11.0時間(約880km)	約11.7時間(約780km)



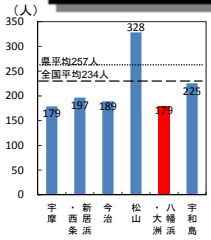
物流・観光を活性化させる「地方創生の道」 4



- ・道の駅登録
- ・みなのオアシス登録
- ・ポートオブザイヤー2013受賞

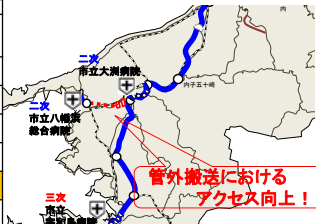


八幡浜・大洲圏域の広域救急医療機関へのアクセス向上 5



八幡浜・大洲圏域における二次救急医療体制(輪番制)

曜日	八幡浜地区		大洲喜多地区	
	昼間帯 (8:30~17:30)	夜間帯 (17:30~翌8:30)	昼間帯 (8:30~17:30)	夜間帯 (17:30~翌8:30)
日	市立八幡浜総合病院	市立八幡浜総合病院	大洲中央病院	大洲中央病院
月	市立八幡浜総合病院	市立八幡浜総合病院	市立大洲病院	市立大洲病院
火	市立八幡浜総合病院	市立大洲病院	市立大洲病院	市立大洲病院
水	市立八幡浜総合病院	市立八幡浜総合病院	加戸病院	加戸病院
木	市立八幡浜総合病院	市立八幡浜総合病院	大洲記念病院	市立八幡浜総合病院
金	市立八幡浜総合病院	市立八幡浜総合病院	大洲中央病院	大洲中央病院
土	受入中止	受入中止	大洲中央病院	大洲中央病院



愛媛県内における二次救急医療圏別人口10万人対医師数

資料)H26医師・歯科医師・薬剤師調査

約6割が宇和島・松山へ搬送

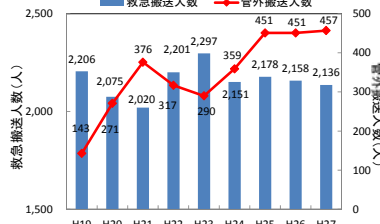
二次救急医療機関への30分圏域人口が約2万3千人増加!

市立大洲病院: 約4,500人増加
市立八幡浜総合病院: 約18,800人増加



二次救急医療機関30分圏域拡大図

※現況(名坂道路開通)と全整備時の比較



八幡浜地区施設事務組合 消防本部における救急搬送人数と管外搬送人数

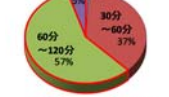
資料)八幡浜地区施設事務組合 消防本部 消防年報



管外搬送先内訳

資料)八幡浜地区施設事務組合 消防本部

約6割が1時間以上必要



管外搬送における取寄時間

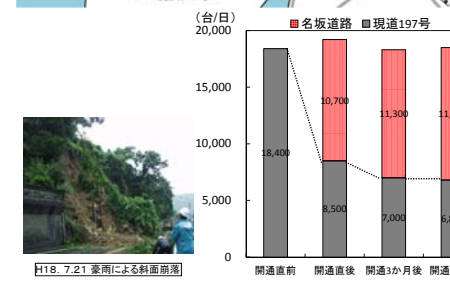
資料)八幡浜地区施設事務組合 消防本部 消防年報

主要渋滞箇所、事故危険区間の解消② 7

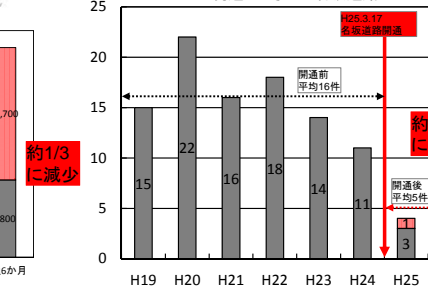


主な整備効果
・渋滞緩和
・事前通行規制区間の解消
・交通事故の減少
・時間短縮

▽現道197号の通行状況(名坂道路の開通前後)



現道197号及び名坂道路における交通量の変化(平日)



現道197号及び名坂道路における死傷事故件数

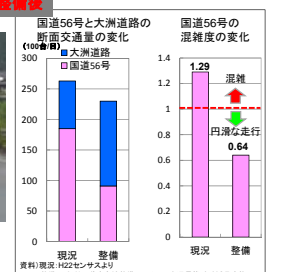
交通事故調査委託業務 愛媛県道路維持課

主要渋滞箇所、事故危険区間の解消① 6

①主要渋滞箇所(大洲市:北只交差点)



①北只交差点の渋滞状況



②主要渋滞箇所(八幡浜市:江戸岡交差点)



②混雑する江戸岡交差点



整備後

渋滞ポイント江戸岡交差点の交通状況の変化

	整備前	整備後
ピーク時の信号待ち回数(混雑度)	3回が常態化(1.60)	1回程度(0.99)
所要時間	現道部 12.7分 バイパス部 4.3分	
12時間交通量	17,186	10,650

(注)整備後の交通状況により、信号現示を検討

大洲・八幡浜自動車道 インターチェンジ(IC)の形状 8

